

一般質問

●安心して暮らせる まちづくり

須田 勝 議員

婚活支援員の配置を

質問 シングル男女の幸せな人生のため、渋川市のためにも合併前旧町村で活動していた結婚相談員、おせつかいおばさん、おじさんの復活、各自治会に配置を。

副市長 相談員の配置については旧赤城村だけでなく、旧北橋村、旧子持村にあり、旧小野上村は媒



道路パトロール風景

酌人褒賞制度がありました。しかし合併時に廃止になった経過もありますので、これらを踏まえ、改めて必要性について検討します。

終活の支援と指導を

質問 だれもが人生の終わりを迎えて、最期の生活は一人寂しくでなく、少しでも納得のいく最期を迎えたい。大きな空き家農家を活用して、ホームホスピス設立等、人生最期の生活支援、指導の考えは。

保健福祉部長

全国の先進事例では、事業運営の公的助成がないため、介護保険事業を併用して赤字を解消しています。今後事業者で組織する推進委員会が、国へ助成制度化の要望を行うとのことから、その状況を見定めていきたい。

道路の維持、管理を

質問 現在、破損している、老朽化している、危険が生じている道路を「いつ、どこから、どのよう

建設部副部長

に一直すのか、直してくれるのか、また今後の道路の維持、管理は。

建設部副部長 自治会の要望に基づき安全安心を最優先に実施しています。今後もパトロールを継続し、損傷箇所や劣化箇所を早期に発見し早期に補修すると共に、自治会等の協力をいただきながら補修箇所の把握に努めていきます。

●渋川市の未来 を問う

平方 嗣世 議員

財源と総合計画

質問 少子高齢化による市税減収、地方債残高の増加、合併特例債の今後の活用状況等、厳しい財政の到来に市長は渋川市の未来をどう考えているのか。

市長

総合計画の実施計画は、財政的な裏付けのもと進行管理していきます。合併特例債も150億円を上限とし、市の将来像の実現に向け取り組んでいきます。

子どもたちの人体実験ではないか

質問 選別農業農法は子どもたちの安全を目指し日本で初の試みと市長は主張している。安全の立証も示さず、いきなり給食センターでの実験を行うべきでない。安全立証の根拠は。

市長

人体に優しい残留性の少ない農薬を限定使用し、リスクの少ない農産物を広く市民に普及させたい。まずは、安全安心なものを給食に提供し推進していきたい。



小野上福祉センター

スポーツで国保対策ができるのか

質問 平成17年度以降3350人の人口減は伊香保町の人口に匹敵する深刻な問題。高齢化率も26・1%。市長は国保医療費、介護保険料対策にはスポーツ地域活性化構想による健康づくりが喫緊の課題と主張、その根拠を伺う。また小野上福祉センターの温泉停止は福祉の後退、復活すべきでは。

市長

県外の例では、健康運動教室により、年間一人当たり医療費を約10万円抑制できたと聞いています。本市も、ハードなスポーツに限らず、グラウンドゴルフやウォーキングなどにより、医療費の削減を図りたいと考えています。

一般質問



固定資産税の窓口

●市民主体の 財政運営を

安力川 信之 議員

公会計の見える化を

質問 固定資産台帳を整備し、公

の施設の更新計画を策定すべき。

また将来負担の道筋を示す考えは。

総務部長 土地・建物情報の整備

を進め、基本情報のシステム化を

行うとともに、資産評価を行い、

固定資産台帳の早期整備につなげ

る考えです。

企画部長 現在、具体的に公の施

設の更新計画は特にありませんが、

市有施設の老朽化などに統一的に

対応するため、基本的な方針につ

いて総合的に検討していきたいと

考えています。

質問 国による公営企業会計の見

直しによる本市の水道・病院事業

会計の影響は。また債権管理条例

を制定する考えは。

水道部長 平成24年度決算認定後、

新制度に置き換え現行制度との比

較を実施し、適切な時期に説明し

ます。また債権管理については、

速やかな対策を検討します。

病院事務部長 病院については、

平成26年度の予算から新公営企業

会計制度に基づいて行うことから

25年度に会計システムの改修等の

準備を進めていく予定です。

洪川短観で景況感の把握を

質問 洪川の景況動向を把握して

政策運営の考えは。また洪川ブラ

ンドを確立して、全国に発信する

ため、ネット通販の考えは。

商工観光部長 中小企業の多い本

市は何を基準に景気判断していく

か、今後調査研究を行います。ネッ

ト通販は、成長が見込まれますが、

運営主体を含めた検討が必要だと

考えます。

●(仮称)北橋運 動場建設とスポ ーツ振興地域活 性化

猪熊 篤史 議員

質問

11月開催の北橋地区地域審

議会で、一貫して400メートルラッ

クの競技場を望んでいたことが確

認され、新運動場に400メートルのラ

ンニングコースがとれるのであれ

ばとってほしいとの要望が出され

た。その対応と経過は。

生涯学習部長 北橋地区地域審議

会等の要望を踏まえ合併特例債の

活用を前提として検討し、県との

調整や同審議会での協議を経て、

12月4日に同審議会を開催し、改

めて現行計画での事業実施を図る

ことを承認いただきました。

質問 地域審議会から要望があ

れば設計を見直すという市長の言葉

が混乱を招いた。市長の政治姿勢

に問題はないか。

市長 見直しは難しいが、再検討

するとした上で、事業認定等の手

続きの進捗を踏まえ、約束であり

ました平成27年度完成を果たすこ

とを優先することとしました。



400mトラックのある総合公園

質問 新運動場を名実ともに運動

公園とできないか。市内のトリム

コースや自由広場等の設置状況と

共に、新運動場への設置可能性は。

生涯学習部長 新運動場は、社会

体育施設として整備します。また、

市内には、総合公園や赤城総合運

動自然公園にウォーキングコース

等が設置されているため、新たに

設置する考えはありません。

質問 市内公設温泉で入れ墨をし

た方への対応が異なる。公設温泉

入浴に関する教育的判断は。

教育長 入れ墨等の件は大変慎重

にならざるをえません。各指定管

理者の運営方針により取り組んで

いくことが無難だと思います。

※トリムコース

ジョギングやウォーキングを楽しめる周回コース。